

# 公益社団法人 福岡県理学療法士会

## 令和元年度 第3回理事会議事録

日 時：令和元年8月31日（土） 15：00～17：30

場 所：麻生リハビリテーション大学校

出席者：（理事）西浦、廣滋、松崎、諫武、宇戸、吉田、久保田、山口、高橋、熊谷、  
松垣、中村、平原、加藤、時吉、永野、岩佐、山内、福田、今村、志田、  
佐藤、久原、遠藤

（監事）森田、日野、田中

（選挙管理委員）田代

（事務員）中山、本村

（欠席）近藤

（書記）池永、皆田

議長は、西浦会長がつとめ、会長、監事により議事録に署名することを確認した。

### 【審議事項】

#### 【会長】

##### 1. 臨床実習指導者研修会の運営について

西浦会長より説明

前回の理事会で、補正予算を組んだが、情勢に変更が生じたので、追加審議を行う。学校協会との話し合いがあった。当初より、学校協会は養成校に会場費無料を依頼していた。福岡県理学療法士会は養成校と共同でお金を捻出し、開催する方針に至ったが、福岡県作業療法協会は養成校負担金がなく開催する方針で、差が生じてしまった。福岡県理学療法士会6回開催に対して福岡県作業療法協会は3回開催と少ないが、この差を重く考えている。学校協会からは、養成校は会場無料および人材派遣の負担を強いており、開催負担金まで徴収することに難色を示された。また、現在養成校について振り込みが行われている学校は、15校中5校だけである。養成校15校から徴収予定だった金額は、ファシリテーター謝金と講師謝金の予算を合わせた支出金と同等の金額になることが見込まれている。そこで、3役会議を行い、養成校には、会場無料と講師謝金およびファシリテーターの無料を依頼することとし、養成校からの拠出金を撤回する考えに至った。ただし、養成校以外のファシリテーター理学療法士については謝金を支払うことにして、運用をしたいと考えている。予算補正は今のところ行わず、現状の予算内で運用していきたいと考えている。福岡県理学療法士会の方針は、今まで通り、会員に対し臨床実習指導の新しい知識の習得の機

会を作り、新しい制度の中で力をふるっていただく環境を整えることである。この提案が理事会で通ったら、すでに振り込み済みの養成校 5 校に対し謝罪とともに返金し、さらに養成校 15 校に対し場所代の免除と講師およびファシリテーターの無料派遣の依頼をしていく予定である。今後の研修会は、学校協会が主体で行うという方針になったため、福岡県理学療法士会としては会員に還元することを主に考えていく。

岩佐支部局長：支払いのない 10 校からの払いたくないという意思表示はないのか。

西浦会長：学校協会は当初の予定に養成校への負担金はないという考えであったが、学校協会からの伝達が遅れてしまったことも、一要因と考えられる。

山内理事：ファシリテーターの理解は得られるのか

西浦会長：お願いするしかない。ファシリテーターに謝金を支払うと 6 回開催が難しい状況になる。6 回すべて定員越えの状況なので、開催を減らすことは考えていない。

福田理事：参加費を取るのとは考えられないのか？

西浦会長：すでに 2 回終了し、その際に資料代 1000 円を徴収した。今年度の残りの開催での参加費の増額は、不公平になるためできない。次年度の検討になると思う。

永野理事：終了した 2 回の講師、ファシリテーターは謝金が発生して、3 回目以降の謝金は発生しないということか。予算は合うのか？

西浦会長：2 回分の講師謝金をまだ振り込んでいない状況であるので、過去の 2 回分も謝罪をして謝金を支払わない提案である。

永野理事：講師は職場から派遣されているわけではなく、自分の休暇を使っている。謝金を支払うという公文書も発行しているので、いまさら支払わないとすることは難しいのではないか。

西浦会長：話し合いを行う方向で考えている

永野理事：苦情を言われたから支払うという姿勢は福岡県理学療法士会としてよくない。今回、謝金を支払うという名目で公文書を発行しているので、途中で変更することは同意しかねる。また、今年度だけでなく来年度のことも見据えて話し合うべきだと考える。

西浦会長：研修会の拠出金について学校協会と日本理学療法士協会との間の話し合いが十分ではなかった。学校協会は、養成校に負担金を強いる考えはそもそもなかったようだが、日本理学療法士協会に伝わっていなかった。福岡県理学療法士会としては、補正予算を立ててその中で運営するしかない。そのため、養成校側には会場費無料と講師派遣を依頼して、予算を工面するしか、現状の手立てはなさそうだという意見に至った。

福田理事：回数を減らせば、講師謝金は生まれるのか

西浦会長：そうではあるが、申し込みをした人を無下にできない。

吉田理事：講師謝金を下げることはできないのか

森田監事：講師 36 万、ファシリテーター 126 万円が当初の予算である

福田理事：福岡県理学療法士会予算でさらに補正をかけて賄うことはできないのか

諫武副会長：そうなると今年度は赤字決算ということになる。11月に修正予算を組むので、11月になれば予算の流れが明らかになるが、おそらく赤字決算を覚悟するべきだと思われる。

廣滋副会長：これまでは理学療法協会からの情報で我々は動いてきた。学校協会からの情報は今までなかった。今回、学校協会は、養成校側から拠出金を徴収すべきではないという明確な意見を出された。そこには、福岡県作業療法協会は養成校側に徴収せずに開催できているのに、なぜ福岡県理学療法士会はできないのかという比較の意味も込められていると考える。今回、養成校側からの拠出金が見込めないなら、会場費と講師およびファシリテーター謝金は養成校に負担をお願いするしかない。講師謝金は必要で、謝金を払えないのであれば、福岡県理学療法士会でその謝金を負担して補正予算を組んで捻出するのか、この理事会で決めなければいけない。

永野理事：47都道府県の講師代はどうなっているのか

西浦会長：各県の協議会で検討されている。鹿児島県は講師謝金無料であるが、講師料を支払っている県もある。福岡県は6回開催しないといけないので、やや情報不足の中、開催を既に開始している。学校からの拠出金がないのであれば、養成校にも協力を依頼するしかないということで理解をお願いしたい。

福田理事：今まで発生した講師謝金を無しにするのは、やはり難しいのではないかと。我々は理事会で、謝金を払うことを前提に承認をした。9月以降の開催に関しては方針変更に伴い謝金が発生しなくなったと訂正および謝罪文とともに再度了承をお願いできるかどうかを伺うことは可能だと思う。しかし、過去の2回に対して支払わないのは福岡県理学療法士会の責任が問われることだと考える。

西浦会長：臨床実習指導者研修会には協議会のもと動いているので、協議会の責任と考える。私個人の気持ちは別にして、福岡県理学療法士会だけがそれを担わなければいけないわけではない。日本理学療法士協会及び学校協会の情報伝達が遅かったことは大いに影響している。すでに福岡県理学療法士会は、今年度予算に予定していなかった研修会について、120万円という補正予算を組んでおり、研修会の運用に全額が使用される見込みである。さらに福岡県理学療法士会だけが予算を負担すべきではないと考える。

福田理事：日本理学療法士協会に対しては福岡県理学療法士会として今後の方針をきちんと表明すべきである。それは会員のためにもなると思う。問題は、すでに終了している2回分の研修会の謝金である。会員の皆さんに理解してもらうには、過去の2回分に関しては福岡県理学療法士会で支払うべきだと考える。

西浦会長：補正予算を組んでもいいと理事会で認めてくれるなら、検討したい。

永野理事：理事会にいる先生方と違って、協力してくれた講師陣は、今日の議題の内容も

開催までにどんな話し合いが行われたのかもしれない先生方ばかりである。その方たちに、「事情が変わったから理解してほしい」、「支払わないことを納得して欲しい」と説明しても理解が得られるとは思えない。少なくとも、終了した2回についてはお支払いすべきだと考える。

吉田理事：養成校の拠出金に関しては了承を得られていたのか

西浦会長：依頼中で、今後説明を重ねて協力していただく予定であった。その段階では、日本理学療法士協会から、学校協会が養成校に負担金を求めないよう要請が来ている情報を我々にもたらされていなかった。

山内理事：2回分の講師謝金はいくらになるのか。

西浦会長：約52万円程度になる。

熊谷理事：そもそも日本作業療法士協会は、過去の指導者研修会の資格を認めている。だから、福岡県作業療法協会よりも福岡県理学療法士会は開催回数を多くしなければいけない。福岡県理学療法士会としては、今年度の予算編成にあげていなかった研修会の補正予算を組んで拠出した経緯があり、これ以上の予算の捻出が難しい状況である。養成校側にこの実情をお伝えして、今年度だけでも寄付をお願いできないか。

廣滋副会長：その話は、3役会議でも上がったが、学校協会の意向がある以上難しいと判断した。

高橋社会局長：来年度以降も養成校からの拠出金はないのか

西浦会長：おそらく。だが、今年度が終わってみないと、来年度の体制は分からないという状況である。

松垣理事：寄付金の募り方として、協力してくれた養成校名をHPや学会誌に掲載するという方法で行えないか。

西浦会長：学校協会からの要請があるため、養成校には、会場費とファシリテーターおよび講師謝金を無料にすることで、協力を依頼する。

山内理事：福岡県作業療法協会の講師謝金はどうなるのか。

西浦会長：福岡県作業療法協会は講師謝金を支払うと聞いている。そもそもの開催回数や制度が違うので、揃えられない。

久保田理事：配布物をPDFで配布するとかして節約できないのか。

西浦会長：日本理学療法士協会からの指定があり配布しなければいけないので変更できない。

佐藤理事：講師謝金について減額でお願いすることはどうか。

廣滋副会長：払うか支払わないかで検討したい。3回目以降の講師には申し訳ないが理解が得られるよう努力するとして、過去2回分について約60万円の補正予算を組んでもいいか承認をお願いしたい。

岩佐理事：私は2回分について赤字覚悟で支払ってほしい。

西浦会長：まず一つ議決を取りたい。3回目以降についての講師謝金およびファシリテーター謝金を無料にさせていただく方向で、養成校および講師達へ案内してもいいか。

熊谷理事：現在までに送付した講師およびファシリテーターへの当てた公文書の内容に謝金についてどのような記載になっているのか。

山口理事：公文書は開催のたびに発行しているので、2回目までしかまだ発行していない。過去2回分の公文書には謝金の記載があるが、3回目以降はまだ郵送していないので未発行である。ただ、講師およびファシリテーターは6回目まで既に決定しており、協会に提出済みなので、今後の変更はおそらく難しい。開催2ヶ月内での再申請は難しいと考えられ、協会が既に厚生労働省に講師名簿を提出していた場合、講師およびファシリテーターの変更は出来ない可能性が高い。一応、予備人員の設定があり、予備人員は名簿に記載している。謝金の関係などで講師を辞退されて人員に不足が出た場合、再申請が認められるかどうかは協会に問い合わせないと明確に返答できないが、難しいと思われる。

廣滋副会長：交通費はでるのでなるべく参加してほしいところだが、早めをお願いをしないといけない。

宇戸学術局長：中央講習会には県の推薦で参加していただき、その役割も説明しており通常の講師依頼とは異なることは理解していると考ええる。

諫武副会長：費用に関しては再度計算してみる

西浦会長：今後の方針および今年度の対応、2回分の講師料についての学校協会に伺ってから検討するのかなど方針を検討したい。

田中監事：学校の立場では協議会が発足して、学校協会と話をした。学校側の拠出金がなくなるのは助かるが、講師謝金が無くなるのであれば、学校側は今後講師について出張扱いになると、何らかの手続きを学校側はしなくてはならない。もし今後の方針が養成校からの拠出金は無く、会場費および講師派遣依頼されるという方針が決定すれば、当校の場合では、出張扱いにするので謝金を辞退してほしいという話をする事になる。

遠藤理事：もし、講師辞退が多数あり再申請ができなかった場合、臨床実習研修会を中止になるのは福岡県理学療法士会の権威に関わるし、予定を立てていた会員に被害が及ぶ。例えば、お金を捻出する方法として、下半期でまだ決まっていない支部および地区の研修会の予算を回すことで、赤字を回避することは出来ないか。福岡県理学療法士会全体の問題として、予算を捻出できないのか。

廣滋副会長：福岡県理学療法士会には臨床家の先生が多く所属している。彼らが自分たちの勉強をする場を減らされて、臨床実習研修会に予算が使われたという思いにならないかという懸念があるので、出来ればそのような予算の捻出の仕方はしたくない。

西浦会長：予算や講師の目途がつかなければ、回数を減らすことも検討しなければいけな

い。既に印刷代だけで 90 万円を使っており福岡県理学療法士会の補正予算の大部分が支払われた。養成校からの入金を待っていた状況である。過去 2 回の研修会の講師謝金については予算の目途が立たない状況であり、いったん保留とするか。

山内理事：過去の 2 回の研修会については、公文書に出してしまっているのですが、もし裁判になったら負けると思う。52 万円は大金なので簡単には言えないし、福岡県理学療法士会だけが負担することに引っかかりはあるが、支払うべきだと考える。今後に関しては開催できない可能性を前提に公文書とともに事情を説明した文書を発行して、講師の協力を得る方針としてはどうか。

西浦会長：既に 100 万の補正予算を組んでいるので、追加で 50 万円の補正予算を組む方針でいいか。

遠藤理事：補正予算を組んで、予算を確保した方が安全だと考える。

永野理事：弁当代に 12 万円割かれているので、予算がないならお弁当は協力してもらってはどうか。

宇戸学術局長：3 回目以降の講師は謝金も弁当も無いことになってしまうので、心苦しい

西浦会長：学校側は会場費無料、人材派遣 福岡県理学療法士会は会員育成のために費用を使う。臨床実習指導者研修会の補正予算を 150 万円とする。

廣滋副会長：来年度からは受益者負担も踏まえた検討が必要と考えている。

西浦会長：次の予算検討までに案を出してほしい。

→承認

#### 【事務局長】

#### 【法人事業】

「後援名義使用承諾書リスト」「委員推薦一覧」について（別紙：事 1.2）

西浦会長より説明

→承認

#### 【総務局】

#### 【法人事業】

[総務局]

##### 1. 令和元年度第 2 回養成校意見交換会について（別紙：総-1）

令和元年度養成校意見交換会を別紙の企画・下記日程にて開催したい。

日 時：令和元年 11 月 16 日（土）予定

場 所：麻生リハビリテーション大学校 予定

時 間：15：00～18：00

内 容：別紙参照

平原総務局長より説明。従来のテーマに加えて、臨床実習指導者講習会についても触れる

提案も考えている。アンケートを事前に提出してもらう予定である。

西浦会長：歴史のある意見交換会であり、臨床実習指導者講習会の話題中心にならないよう、従来のテーマもしっかり話し合えるよう工夫してほしい。会場が広いとのことだが、予算を超えないように配慮してほしい

→承認

## 【学術局】

### 【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

#### [学会部]

#### 1. 学会長選考規定についてご審議頂きたい

今年度の学会より学会長公募制を導入したが、選考のための明確な規定を定めていなかった。学会長選考規定を作成したためご意見いただきたい。(別紙：学-1)

吉田理事より説明。選考規定を整理し提示した。

山内理事：応募の時期が12/31になると、予算を決めた後の決定になるので、学会長の意向が反映しにくいのではないかと。

吉田理事：学会長の応募時期は、現在、数か月ずつ前倒して調整をしている状況である。数年内に、予算なども踏まえた適切な時期に落ち着けると考える。

西浦会長：再来年度に九州ブロック学術大会を開催する予定である。九州ブロックが10月と福岡県学会が2月と時期が近く、当初、福岡県学会の開催を取りやめにする案があった。しかし、予算の関係もあり、福岡県学会は通年通り開催する方向でお願いしたいと考えている。

廣滋副会長：九州ブロックは福岡県だけでなく他県からの演題登録も期待できると考えている。また、九州ブロックの演題登録に漏れてしまった演題へのチャンスになるかもしれない。規定に関して、推薦の場合もこの要件を満たした人を推薦するという認識でいいのか

吉田理事：そのとおりである。

熊谷理事：欧文誌、邦文誌という表現でいいのか。欧文に限定するのか。

宇戸学術局長：国内誌に訂正する。

→承認

#### [学術誌編纂部]

#### 1. 講演録の対象を各局主催の研修会などにも拡大することを承認して頂きたい。

どの研修会にするかは適宜学術誌編纂部で審議する。

佐藤理事より説明。講演録を対象とすること、その選定は学術局で実施すること。

廣滋副会長：講師に事前に、講演録の依頼の説明するのか、編集料などのことはどのようにされるのか。

佐藤理事：事前をお願いすることを考えているが、講演後をお願いする形も検討している。

宇戸学術局長：なるべく事前をお願いすることがあるという説明をすべきだとは思っている。研修会の開催は学術局のみではないので、佐藤理事から講演後をお願いすることはあると思われる。

西浦会長：対象を広げることは進めてほしい。支部局と連携を取ってその選定をしてください。

→承認

#### [学術研修部]

1. 2020年度理学療法士講習会（基本技術編）の日程および講師案に関してご審議頂きたい。

日 時：令和2年9月未定日（日曜日）9：30～16：40（9：30～受付）

第1部：9：30～12：40 第2部：13：30～16：40

場 所：未定

定 員：100名

全体テーマ：運動器理学療法と予防理学療法のコラボ研修会（仮）

1) 運動器理学療法の講師案について

講師案1

テーマ：「高齢者の筋の評価とトレーニング」（仮題）

講 師：市橋 則明 氏（京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻 教授）

略 歴：

#### 【学歴】

1982年 立命館大学工学部電気工学科 卒業

1985年 神戸大学医療技術短期大学部 理学療法学科 卒業

1985年 理学療法士免許

2004年 医学博士（リハビリテーション医学）取得

#### 【職歴】

1985年 三菱神戸病院勤務

1988年 神戸大学医療技術短期大学部 理学療法学科 助手

1994年 京都大学医療技術短期大学部 理学療法学科 助教授

2003年 京都大学医学部保健学科理学療法専攻 助教授

2005年 京都大学医学部保健学科理学療法専攻 教授

2007年 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻 教授

#### 【所属学会、役員等】

日本基礎理学療法学会、日本運動器理学療法学会、日本地域理学療法学会、日本予防理学療法学会、日本体力医学会、日本バイオメカニクス学会、日本

老年医学会、日本臨床バイオメカニクス学会、日本基礎理学療法学会運営幹事、理学療法学編集委員会委員長、京都府理学療法士会監事

**【認定・専門理学療法士】**

専門理学療法士（基礎、運動器）

講師案 2

テーマ：「運動器に必要なバイオメカニクス」（仮題）

講師：福井 勉 氏（文京学院大学保健医療科学研究科 教授）

略歴：

**【学歴】**

昭和大学 医学博士（整形外科） 取得

**【経歴】**

昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 主任

昭和大学保健医療学部 助教授

文京学院大学保健医療科学研究科 教授

昭和大学客員教授

茨城県立医療大学非常勤講師

Western 大学客員教授

Otago 大学客員研究員

**【所属学会、役員など】**

日本理学療法士協会、日本臨床バイオメカニクス学会、バイオメカニクス学会、日本バイオメカニクス学会、日本体力医学会、日本人間工学会、臨床歩行分析研究会、理学療法科学学会、日本ダンス医科学研究会理事、芸術家のくすり箱、WCPT、ISB、ISEK

**【認定・専門理学療法士】**

専門理学療法士（基礎、運動器）

2) 予防理学療法の講師案について

講師案 1

テーマ：「地域における転倒予防」（仮題）

講師：島田 裕之 氏（国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 部長）

略歴：

**【職歴】**

2003 年 東京都老人総合研究所 研究員

2010 年 独立行政法人国立長寿医療研究センター 室長

2011 年 独立行政法人国立長寿医療研究センター

2014 年 独立行政法人国立長寿医療研究センター 部長

2015 年 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 部長

**【所属学会、役員等】**

日本老年医学会、日本サルコペニア・フレイル研究会、日本認知症予防学会、日本予防理学療法学会、日本転倒予防学会、日本介護予防・健康づくり学会、日本認知症学会

**【認定・専門理学療法士】**

専門理学療法士（生活環境支援）

講師案2

テーマ：「高齢者の身体機能（福祉用具のある暮らし）」（仮題）

講師：牧迫飛雄馬 氏（鹿児島大学医学部保健学科理学療法専攻 教授）

略歴：

**【学歴】**

2009年 早稲田大学大学院スポーツ科学研究科 卒業

**【職歴】**

2017年 鹿児島大学医学部保健学科理学療法専攻 教授

2015年 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター

**【所属学会、役員等】**

日本地域理学療法学会運営幹事

**【認定・専門理学療法士】**

専門理学療法士（基礎理学療法、生活環境支援）、認定理学療法士（介護予防）

講師案3

テーマ：「地域理学療法における行動変容」（仮題）

講師：岡 浩一朗 先生（早稲田スポーツ科学学術院 教授）

略歴：

**【学歴】**

1999年 早稲田大学大学院人間科学研究科健康科学

**【職歴】**

1999年 早稲田大学人間科学部 助手

2001年 日本学術振興会 特別研究員（PD）

2004年 東京都老人総合研究所介護予防緊急対策室 主任

2006年 早稲田大学スポーツ科学学術院 准教授

2012年 早稲田大学スポーツ科学学術院 教授

**【所属学会、役員等】**

日本運動疫学会 副理事長・セミナー委員、日本健康教育学会 理事・編集委員・学術委員、日本健康心理学会 理事・研究推進副委員長、日本行動医学会 理事・編集委員・利益相反委員長、日本体力医学会 評議員

久保田理事より説明

宇戸学術局長：毎年、応用編として2回開催していた。生涯学習システムの変更に伴い、来年度のこの応用編の研修が、どう変化するかはわからないが、人気の講習なので、定員枠100名と増員して提案に至った。

山内理事：応用編には実技が入らないといけないのか。

宇戸学術局長：聴講タイプで可能である

山内理事：講師陣が素晴らしいので100名以上も検討できないのか。

宇戸学術局長：もちろん検討するが、予算の関係もあるので、現状では答えられない。

→承認

2. 2020年度理学療法士講習会（基本技術編）の日程および講師案に関してご審議頂きたい。

日 時：令和2年10月未定日（日曜日）9：30～16：40（9：30～受付）

第1部：9：30～12：40 第2部：13：30～16：40

場 所：未定

定 員：100名

全体テーマ：「がん理学療法と栄養・嚥下理学療法のコラボ研修会」（仮題）

1) がん理学療法の講師案について

講師案1

テーマ：「急性期がんリハビリテーションに対する考え方」（仮題）

講 師：井上順一郎 氏（神戸大学医学部附属病院リハビリテーション部 理学療法士）

略 歴：

**【学歴】**

1996年 関西外国語大学外国語学部英米語学科卒業

2005年 神戸大学医学部保健学科理学療法学専攻卒業

2007年 神戸大学大学院医学系研究科保健学専攻博士前期課程修了

2011年 神戸大学大学院医学系研究科保健学専攻博士後期課程修了

**【職歴】**

2006年 神戸大学医学部附属病院リハビリテーション部 入職

**【認定・専門理学療法士】**

専門理学療法士（内部障害）

講師案2

テーマ：「急性期がんリハビリテーションに対する考え方」（仮題）

講 師：高倉 保幸 氏（埼玉医科大学保健医療学部理学療法学科 教授）

略 歴：

**【学歴】**

1984年 国立療養所東京病院附属リハビリテーション学院 卒業  
2005年 国際医療福祉大学大学院医療福祉学保健医療学 博士号取得

**【職歴】**

1984年 財団法人癌研究会附属病院整形外科 理学療法士  
1999年 埼玉医科大学総合医療センターリハビリテーション科 課長補佐  
2007年 埼玉医科大学保健医療学部理学療法学科 教授  
2014年 同 学科長

**【所属学会、役員等】**

日本リハビリテーションネットワーク研究会常任理事、埼玉県包括的リハビリテーション研究会会長、日本生活支援工学会評議員、日本がんリハビリテーション研究会副理事長、日本理学療法士協会がん理学療法部門代表運営幹事

**【認定・専門理学療法士】**

専門理学療法士（神経、運動器）

講師案3

テーマ：「急性期がんリハビリテーションに対する考え方」（仮題）

講師：増田 芳之 氏（静岡県立静岡がんセンター 理学療法士）

略歴：

**【職歴】**

静岡県立静岡がんセンター 理学療法士

**【所属学会、役員等】**

がん理学療法部門（運営幹事、学会・学術担当）

**【認定・専門理学療法士】**

専門理学療法士（運動器）

2) 栄養・嚥下理学療法の講師案について

講師案1

テーマ：「栄養・嚥下理学療法の実際とその課題」（仮題）

講師：吉田 剛 氏（高崎健康福祉大学理学療法学科 教授）

略歴：

**【学歴】**

1979年 栃木県立足利高等学校卒業、立命館大学法学部入学  
1982年 国立療養所東京病院附属リハビリテーション学院入学  
2003年 群馬大学医学系研究科保健学修士号取得  
2006年 群馬大学保健学博士号取得

**【職歴】**

1985年 館林厚生病院理学診療科  
1991年 本島総合病院リハビリテーション科室長  
2009年 高崎健康福祉大学理学療法学科設置準備室 教授  
2010年 高崎健康福祉大学理学療法学科 教授

**【所属学会、役員等】**

日本理学療法士学会、日本予防理学療法学会運営幹事、栄養・嚥下理学療法部門代表運営幹事、理学療法科学学会、日本老年医学会、日本摂食嚥下リハビリテーション学会、日本リハビリテーション栄養学会

**【その他】**

日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士

**【認定・専門理学療法士】**

専門理学療法士（神経）

講師案2

テーマ：「栄養・嚥下面から考えるフレイル者に対する理学療法」（仮題）

講師：山田 実 氏（筑波大学大学院人間総合科学研究科 教授）

略歴：

**【学歴】**

2005年 神戸大学医学部保健学科卒業  
2007年 神戸大学大学院医学系研究科博士前期課程修了  
2010年 神戸大学大学院医学系研究科博士後期課程修了（保健学博士）

**【職歴】**

2008年 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻助手  
2010年 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻 助教  
2014年 筑波大学人間系 准教授  
2019年 筑波大学人間系 教授

**【認定・専門理学療法士】**

専門理学療法士（基礎、運動器、生活環境支援）

久保田理事より説明

熊谷理事：開催日程について、認定、専門の申請をしたい方もいると思うので、日程を上半期にすることはできないか。

西浦会長：会場の都合や日程が上半期ばかり偏ることも学術研修部の負担となるので、来年度以降に検討できるのであれば考慮してみてほしい

→承認

3. 2020年度専門理学療法士講習会の日程および講師案に関してご審議頂きたい

日 時：令和2年11月未定日（日曜日）9：30～16：40（9：30～受付）

第1部：9：30～12：40 第2部：13：30～16：40

場 所：未定

定 員：200名

全体テーマ：「呼吸理学療法と循環器理学療法のコラボ研修会」（仮題）

1）呼吸理学療法の講師案について

講師案1

テーマ：「呼吸器疾患の評価とアセスメントに基づく排痰法の実践」（仮題）

講 師：玉木 彰 氏（兵庫医療大学リハビリテーション学部理学療法学科 学科  
長・教授）

略 歴：

**【学歴】**

京都大学医療技術短期大学部理学療法学科（現京都大学医学部人間健康科  
学科）卒業

大阪教育大学大学院健康科学専攻 修士課程 修了

兵庫医科大学大学院医学研究科生理学専攻 博士課程 修了

**【職歴】**

星丘厚生年金病院（減 星丘医療センター）リハビリテーション部理学療法  
士

大阪府立大学 助手

京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻 准教授

兵庫医療大学リハビリテーション学部理学療法学科 学科長・教授

**【認定・専門理学療法士】**

専門理学療法士（基礎、内部障害）、認定理学療法士（呼吸）

講師案2

テーマ：「急性期の呼吸器疾患患者のフィジカルアセスメントと治療効果の効果判定」  
（仮題）

講 師：木村 雅彦 氏（杏林大学保健学部理学療法学科 准教授）

略 歴：

**【学歴】**

社会医学技術学院理学療法学科 卒業

東京都立保健科学大学（保健科学） 博士号取得

**【職歴】**

杏林大学医学部附属病院リハビリテーション室 理学療法士

北里大学医療衛生学部 講師

杏林大学保健学部理学療法学科 准教授

**【その他】**

3 学会合同呼吸療法認定士、心臓リハビリテーション指導士

**【認定・専門理学療法士】**

専門理学療法士（内部障害）、認定理学療法士（循環）

2) 循環器理学療法の講師案について

講師案 1

テーマ：「フレイルを有する高齢心不全患者の身体機能評価と心臓リハビリテーションの実際」（仮題）

講師：神谷健太郎 氏（北里大学 医療衛生学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 准教授）

略 歴：

**【学歴】**

2002 年 北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科卒業

2014 年 北里大学大学院循環器内科学 博士課程 終了

**【職歴】**

2002 年 榊原記念病院 心臓リハビリテーション室（非常勤）

2011 年 Veruno Scientific Institute Exercise Pathophysiology  
Laboratory, Cardiac Rehabilitation Division Research  
Fellow

2014 年 北里大学病院 リハビリテーション部 主任

2019 年 北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科理学療法学専攻  
准教授

**【所属学会、役員等】**

世界理学療法連盟心肺理学療法サブグループ委員、日本心不全学会代議員、  
日本心臓リハビリテーション学会学術委員、医学書院理学療法ジャーナル  
編集同人、日本循環器病予防学会評議委員、日本心管理理学療法学会運営  
幹事（副代表 2017-2019）

**【認定・専門理学療法士】**

専門理学療法士（内部）

講師案 2

テーマ：「フレイルを有する高齢心不全患者の身体機能評価と心臓リハビリテーションの実際」（仮題）

講師：松沢 良太 氏（兵庫医療大学リハビリテーション学部理学療法学科  
講師）

略 歴：

**【学歴】**

北里大学医療衛生学部 卒業  
北里大学大学院医療系研究科修士課程 修了  
北里大学大学院医療系研究科博士課程 修了

**【職歴】**

さがみ循環器クリニックリハビリテーション部 理学療法士  
北里大学病院リハビリテーション部 理学療法士  
兵庫医療大学リハビリテーション学部理学療法学科 講師

**【認定・専門理学療法士】**

認定理学療法士（循環）

講師案3

テーマ：「循環器疾患に対する包括的リハビリテーション」（仮題）

講師：澁川 武志 氏（滋賀医科大学医学部附属病院リハビリテーション部  
主任）

略 歴：

**【学歴】**

神戸大学 卒業

**【職歴】**

滋賀医科大学医学部附属病院

**【認定・専門理学療法士】**

専門理学療法士（内部）、認定理学療法士（循環）

久保田理事より説明

→承認

**【社会局】**

**【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】**

[公益事業推進部]

1. ふくおか健康づくり県民運動情報発信サイトへの健康づくりイベントの情報掲載について（別紙：社-1）

福岡県保健医療介護部健康増進課から、健康づくりに関するイベントについて標記サイトへの情報掲載依頼が来ている。対象：福岡県理学療法士会単体で実施しているイベント（理学療法週間、市民公開講座等）本サイトでの情報発信の可否、ならびに情報発信を公益事業推進部で担当して良いかご審議頂きたい。

熊谷理事より説明。

→承認

[職能部]

1. 令和元年度介護保険関連施設等従事者研修会（別紙：社-3）

日 時：令和2年1月19日（日）9：00～12：00

場 所：未定

テーマ：「退院・退所支援に関わる課題」（仮）

「退院・退所時の他職種との連携について ～シンポジウム～」（仮）

講 師：大塚 文 先生（社会福祉士、広島文化学園 看護学科 教授）

末次香代子 先生（介護支援専門員、医療法人安藤内科循環器科医院 介護  
支援センターふれあい）

八尋 慎也 先生（介護福祉士、特別養護老人ホーム 青楽園）

廣地 大輔 先生（看護師、社会医療法人陽明会 つくし訪問看護ステー  
ション）

後藤 真司 先生（作業療法士、介護老人保健施設 ほうらい山荘）

久原理事より説明。すべて他職種に講演いただく予定。

→承認

3. 介護業務における介護職員の腰痛予防研修会（福岡県地域医療介護総合確保基金補助金）について（別紙：社-4、5）

11月、2月に昨年度からの継続事業として表記の研修会を開催する予定である。今年度もファシリテーターを公募し、育成事業の一つとしたい。公募の要項においてご審議いただきたい。

久原理事より説明。昨年度と同様だが、「介護施設等における生産性向上に資するパイロット事業 参加」の項目を追加した

→承認

【支部局】

【法人事業】

1. 筑後支部部長の推薦について

社会担当部長に成冨 耕治 氏（古賀病院 21）を推薦します。

推薦理由：ご本人から事務所へ立候補あり。

→承認

【地域包括ケア推進局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

[地域包括ケア推進局]

1. 地域包括ケア推進リーダースキルアップ研修会（別紙：地-1）

日 時：令和2年1月13日（月）

場 所：未定

内 容：(別紙参照)

今村理事より説明。

→承認

2. 介護予防推進リーダースキルアップ研修会 (別紙：地-1)

日 時：令和2年2月11日(火)

場 所：未定

内 容：(別紙参照)

今村理事より説明。

→承認

**【各委員会】**

[表彰委員会]

1. 令和元年度福岡県理学療法士会功労賞受賞者表彰について (別紙：表-1)

令和元年度の福岡県理学療法士会功労賞受賞者を別紙の通りとし、50周年記念式典にて表彰を行いたい。

諫武副会長より説明 20年在籍の45歳以上で10年以上福岡県理学療法士会に貢献された方を対象に功労賞を授与する。

→承認

**【選挙管理委員会】**

1. 令和元年度代議員選挙のスケジュールおよび必要書類の確認 (別紙：選1-3)

代議員選挙 2/9 を固定日として、遡って 1/19~2/9 とした。立候補が不足している支部には、支部から推薦者を出してもらおう。告示は 1/6 とし、11/23-12/15 に立候補受付の予定で進める。

福田理事：立候補が不足した場合、地区部長は 12/16~1/5 に推薦者を上げなければいけないのか？ 前回 3 週間しか期間が無く、推挙に苦慮した。

田代選挙管理委員：推薦人は地区部長以外に拡大し、最終推薦人は地区部長とすることで緩和案を提案している。

2. 選挙実施時のハガキ投函システムの変更

田代選挙管理委員より説明。全会員にはがきを投函し、70 万円かかった。選挙が行われえると決まった時点ではがきを投函するように変更する。

3. 選挙実施時のデータ抽出について

田代選挙管理委員より説明。何が問題で投票に参加されないのかということを確認したいので、データ収集を行うこととする。また、その予算ははがきでカットできた予算を用いる。

## 【報告事項】

### 【副会長】

### 【諫武副会長】

#### 1. 介護支援専門員協会理事会出席

日 時：令和元年7月3日（水）19：00～21：00

場 所：博多市民センター

出務者：諫武

## 【総務局】

### 【公益事業2 理学療法の知識・技術の普及・啓発を行う事業】

#### I. 事業

##### [組織部]

#### 1. 福岡県理学療法士会 LINE

会員へ令和元年9月1日公開

永野理事：予算 15000 円内での運用を検討している。9/7 の 50 周年式典でチラシを配布する予定である。

## 【法人事業】

#### I. 事業

##### [総務部]

#### 1. DMOC 情報伝達訓練参加

日 時：令和元年7月20日（土）15：00～17：00

場 所：北九州市立八幡病院

内 容：発災ゼロ時からの被災地内医療支援体制の構築シミュレーション

出席者：加藤、池永

#### II. 関係会議

##### [総務部]

#### 1. 北九州 JRAT 会議

日 時：令和元年7月4日（木）18：30～20：30

場 所：小倉リハビリテーション病院

内 容：1) 福岡 JRAT 活動について

2) JRAT九州ブロック会議報告

3) DMOC 災害支援のシミュレーションの参加について

出席者：平原、加藤、池永

2. 令和元年度災害対応担当者会議

日 時：令和元年7月6日（土）12：30～14：30

場 所：howffice net 会議室 博多駅前店

出務者：平原、池永

【学術局】

[学会部]

1. 講師・講演テーマ・司会について

<特別講演1>

司 会：鈴木 裕也 氏（製鉄記念八幡病院）

<特別講演2>

司 会：山口 雄介 氏（福岡和白病院）

<ランチタイムセミナー>

テーマ：「機能回復・ADL向上とリハビリテーション栄養

～理学療法士に重要な栄養ケアの視点～」

講 師：西岡 心大 先生（管理栄養士 長崎リハビリテーション病院人材開発部  
副部長・ 栄養管理室室長）

司 会：白土 健吾 氏（飯塚病院リハビリテーション部）

<新人教育セッション>

講 師：宇戸 友樹 氏（麻生リハビリテーション大学校 専任教員）

テーマ：臨床実習指導方法論

\*新人教育プログラム「E-1 臨床実習指導方法論」単位取得可能

<シンポジウム2>

テーマ：「理学療法士の職域拡大に挑戦しよう！」

司 会：永野 忍 氏（九州医療スポーツ専門学校）

飛永浩一朗 氏（聖マリアヘルスケアセンター）

○ウィメンズヘルス・メンズヘルス

講 師：橋本 優子 氏（うらた整形外科クリニック）

○行政

講 師：久保かおり 氏（北九州市保健福祉局総務部 地域リハビリテーション  
推進課リハビリテーション推進係長）

○スポーツ・部活動

講 師：村上 武史 氏（産業医科大学病院 東筑高等学校ラグビー部）

○災害支援

講 師：池永千寿子 氏（製鉄記念八幡病院）

2. 学会前日宿泊先の手配

西鉄イン福岡アクロス福岡前 25部屋（禁煙15部屋、喫煙10部屋）仮予約中。

3. 開会式司会

エントリーサービスプロモーション 泉 やす子 様で手配済み。

4. 第30回福岡県理学療法士会学会長に関して

学会長公募の結果、1名の立候補あり。しかし、7月末に辞退の連絡があったため、現在推薦候補を選定中

5. 第30回福岡県理学療法士会開催候補日に関して

第1候補：2021年2月14日（日）仮予約中

例年第1日曜日に開催していたが、2021年2月7日（日）は既に大学入試による国際会議場全館貸し切りの予約が入っているため

吉田理事より説明。5に関しては開催1年前の決定になる。

[学術誌編纂部]

1. 理学療法福岡 33 号の巻頭言執筆者、特集テーマおよび執筆依頼候補

1) 巻頭言執筆者：諫武 稔 氏（副会長）

2) 特集テーマ：災害リハビリテーション

執筆依頼候補①

テーマ：「災害医療におけるリハビリテーション支援について」（仮題）

執筆依頼予定者：赤津 嘉樹 先生（小倉リハビリテーション病院 医師  
福岡 JRAT）

執筆依頼候補②

テーマ：「被災地での活動報告」（仮題）

執筆依頼予定者：伊藤 元貴 氏（介護老人保健施設伸寿苑 福岡 JRAT）

執筆依頼候補③

テーマ：「災害時における福岡県理学療法士会の取り組み（仮）」

執筆依頼予定者：平原 寛貴 氏（KKR 新小倉病院 福岡県理学療法士会 災害対

策部）

佐藤理事より説明

[学術研修部]

1. 管理者研修会（北九州支部）

日 時：令和元年7月7日（日）9：00～12：30（8：30～受付）

場 所：製鉄記念八幡病院

内 容：管理者ネットワーク構築について（2019年度の取り組みと展望）

公益社団法人福岡県理学療法士会 理事 諫武 稔

理学療法士のマネージメント

公益社団法人福岡県理学療法士会 会長 西浦 健蔵

各施設における事例紹介

- ・ 診療報酬に関するマネージメント
- ・ リハビリテーション部組織、運営マネージメント
- ・ 新人教育マネージメント

臨床教育及び実習指導について

公益社団法人福岡県理学療法士会 理事 宇戸 友樹

ワールドカフェ（討論）（グループワーク）（名刺交換）

参加者：37名（欠席者：1名）

出務者：宇戸、長谷川、中野、久保田

[教育研修部]

#### 1. 理学療法士講習会基本編（理論）

日 時：令和元年7月21日（日）9:30～16:30（9:00～受付）

場 所：麻生リハビリテーション大学校 241 教室

内 容：テーマ：「キャリア・デザインとリカレント教育システム」

9:30～11:00

テーマ：「キャリア・デザインとリカレント教育システム」

講 師：遊佐 隆 氏（松戸整形外科病院 副院長）

11:10～12:40

テーマ：「卒後教育から考えるキャリアデザインの方向性

～ 継続教育から考える理学療法教育の路 ～」

講 師：宇戸 友樹 氏（麻生リハビリテーション大学校 専任教員）

13:30～16:30

テーマ：「ティーチングスキルとコーチングスキル 実践

～ 教育の為のモチベーションマインド～」

講 師：阿毛 裕理 先生（AAマネジメント株式会社 代表取締役社長）

参加者：16名（事前受付：24名）

都道府県別：福岡11名 佐賀1名 大分1名 鹿児島1名 山口1名 高知1名

出務者：河上、山口

山口理事より説明。7/21の研修会は台風と重なった。

#### 2. 第1回臨床実習指導者福岡県講習会

日 時：令和元年7月27-28日（土-日）

27日：9:30～19:00（9:00～受付）28日：9:00～17:30（8:30～受付）

場 所：国際医療福祉大学 大川キャンパス 101教室、ラウンジ

日程	時間			講義・演習テーマ（講義：480分、演習480分＝計960分）
1日目	1	9:30～10:30	講義	講義1【理学療法士・作業療法士養成施設における臨床実習制度の理念と概要】 臨床実習指導者講習会のねらい、意義・目的・内容・仕組み（60分）
	1	10:30～11:30	講義	講義2【その他臨床実習に必要な事項】教育原論・人間関係論（60分）
	1.5	11:30～13:00	演習	演習1【その他臨床実習に必要な事項】人間関係論（90分）
		13:00～13:50	休憩	
	1	13:50～14:50	講義	講義3【臨床実習指導者のあり方】リスク管理、コンプライアンスならびにハラスメントの防止（60分）
	1.5	14:50～16:20	演習	演習2【臨床実習指導者のあり方】ハラスメント防止について（90分）
		16:20～16:30	休憩	
	1	16:30～17:30	講義	講義4【臨床実習の到達目標と修了基準】（60分）
1.5	17:30～19:00	演習	演習3【臨床実習の到達目標と修了基準】（90分）	
2日目	1.5	9:00～10:30	講義	講義5【臨床実習施設における臨床実習プログラムの立案】（90分）
	1.5	10:30～12:00	演習	演習4【臨床実習施設における臨床実習プログラムの立案】 規定する時間数で臨床実習プログラムを立案（90分）
		12:00～12:50	休憩	
	1.5	12:50～14:20	講義	講義6【その他臨床実習に必要な事項】診療参加型臨床実習における学生評価（90分）
	1.5	14:20～15:50	演習	演習5【その他臨床実習に必要な事項】診療参加型臨床実習における学生評価（90分）
		15:50～16:00	休憩	
1.5	16:00～17:30	演習	演習6【臨床実習指導者およびプログラムの評価】（90分）	

内 容：

参加者：93名（事前受付100名）

欠席連絡有：2名 欠席連絡無：5名

出務者：宇戸、岡本、山口

[卒前・卒後教育検討委員会]

#### 1. 第1回臨床実習指導者福岡県講習会

日 時：令和元年7月27日（土）9:30～19:00 7月28日（日）9:00～17:30

場 所：国際医療福祉大学

内 容：

講義1：森田 正治（国際医療福祉大学 福岡保健医療学部）

講義2：金子 秀雄（国際医療福祉大学 福岡保健医療学部）

講義3：宮崎 至恵（福岡国際医療福祉学院）

講義4：永井 良治（国際医療福祉大学 福岡保健医療学部）

講義5：宇戸 友樹（麻生リハビリテーション大学校）

講義6：廣滋 恵一（九州栄養福祉大学リハビリテーション学部）

ファシリテーター

中原 雅美（国際医療福祉大学 福岡保健医療学部）

高野 吉朗（国際医療福祉大学 福岡保健医療学部）

岡 真一郎 (国際医療福祉大学 福岡保健医療学部)  
吉村 修 (川崎病院)  
松田 憲亮 (国際医療福祉大学 福岡保健医療学部)  
池田 拓郎 (国際医療福祉大学 福岡保健医療学部)  
永野 忍 (九州医療スポーツ専門学校)  
下井 俊典 (国際医療福祉大学 福岡保健医療学部) ]  
野中喜代子 (久留米リハビリテーション学院)  
関 誠 (帝京大学)

出務者：森田、宇戸

宇戸学術局長より説明。エラーがあり県外を 1 名受け入れてしまった。謝罪する。欠席者が 1 回目 5 名、2 回目 2 名。連絡があったのは 1 名。

西浦会長：参加希望されて、落選した会員もいる。対策を考えないといけない。

## 【関係会議】

### [学術局]

#### 1. 第 2 回学術局会議

日 時：令和元年 7 月 6 日 (土) 15:00～17:30

会 場：麻生リハビリテーション大学校

内 容：1) 学術局の各部の申し送り状況確認  
2) 新体制での運営方針・方法の確認  
3) 各部の事業と局の連携確認

出務者：佐藤、山口、吉田、久保田、宇戸

### [学会部]

#### 1. 第 1 回学会部会議

日 時：令和元年 7 月 31 日 (水) 19:00～21:15

会 場：新吉塚病院

内 容：1) 第 29 回福岡県理学療法士学会 役割担当決め  
2) 新人教育セッション講師の選定  
3) 特別講演・ランチセミナー司会の選定  
4) ベストポスター賞の選考基準について  
5) 次年度学会長の選定

出務者：林田、富澤、山口、鈴木、林、谷口、吉田

### [学術研修部]

#### 1. 第 3 回学術研修部会議

日 時：令和元年 7 月 31 日 (水) 19:00～22:00

内 容：1) 第 102 回福岡県理学療法士学術研修大会の進捗状況確認

- 2) 2019年度理学療法士講習会応用編の進捗状況確認
- 3) 2020年度理学療法士講習会応用編の企画案確認
- 4) 2020年度専門理学療法研修会の企画案確認
- 5) 第103回福岡県理学療法士学術研修大会の企画案確認

出務者：長谷川、丸山、白川、國友、中野、宇戸、玉利、山田、久保田

[教育研修部]

1. 第3回教育研修部会議

日 時：令和元年7月20日（土）16：30～18：00

場 所：麻生リハビリテーション大学校

- 内 容：1) 学術局、教育研修部体制について
- 2) 教育研修部事業の確認と役割分担について
  - 3) 新人研修会開催日と準備の確認
  - 4) 理学療法士講習会（基本編）の事前打ち合わせ
  - 5) 新生涯学習システムについて
  - 6) その他：令和元年度の会議予定確認

出務者：宇戸、岡、岡本、河上、脇坂、山口、

【社会局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

I. 事業

[職能部]

1. 令和元年度 学校保健等教育関連理学療法研修会

日 時：令和元年7月28日（日）9：00～12：00

場 所：福岡医療専門学校

テーマ：「学校における運動器障害予防の包括的連携 ～理学療法士に求めること～」

講 師：高橋 敏明 先生（愛媛大学医学部附属病院 地域医療支援センター）

司 会：中村 雅隆 氏（田原整形外科医院）

参加者：82名

出務者：緒方、吉村（直）、久原

2. 令和元年度福岡県訪問リハビリテーション実務者研修会（別紙：社-2）

日 時：令和元年12月14（土）、15（日）

1日目14：15～18：00、2日目10：00～15：30

場 所：ウェルとばた

内 容：基調講演 1日目

テーマ：「住民主体の自立支援」

講 師：逢坂 伸子 氏（大東市）

講 師：青木 穂高 先生（北九州市）

司 会：未定

内 容：講演 2 日目

テーマ：「リスク管理」

講 師：柏木 秀行 先生（飯塚病院）

テーマ：「アドバンスケアプランニング（ACP）」

講 師：尾形由起子 先生（福岡県立大学）

講 師：山下 亮侑 先生（福岡聖恵病院）

司 会：未定

久原理事より説明。今回は言語聴覚士が主体となって進められている。

## II. 関係会議

### 【社会局】

#### [社会局]

##### 1. 第 1 回社会局会議

日 時：令和元年 7 月 9 日（火）19：00～21：00

場 所：宗像水光会総合病院

内 容：今年度事業について

出務者：高橋、久原、熊谷、中村、松垣

#### [職能部]

##### 1. 第 2 回職能部会議（第 2 回令和元年度訪問リハビリテーション実務者研修会会議）

日 時：令和元年 7 月 2 日（火）19：00～20：30

場 所：あおぞらの里古賀訪問看護ステーション

内 容：令和元年度訪問リハビリテーション実務者研修会について

出務者：久原、竹下、笹隈、志田

##### 2. 第 3 回職能部会議

日 時：令和元年 7 月 29 日（月）19：15～20：45

場 所：宗像水光会総合病院

内 容：令和元年度介護保険関連施設等従事者研修会について

出務者：麻生、稲富、藤井、吉村（直）、吉村（美）、中村、久原

### 【公益事業 2 理学療法の知識・技術の普及・啓発を行う事業】

## II. 関係会議

### 【社会局】

#### 1. 第 1 回社会局会議

日 時：令和元年 7 月 9 日（火）19：00～21：00

場 所：宗像水光会総合病院

内 容：今年度事業について

出務者：高橋、久原、熊谷、中村、松垣

[公益事業推進部]

1. 第2回公益事業推進部会議

日 時：令和元年7月31日（水）19：00～21：00

場 所：産業医科大学病院

内 容：事業計画、業務分担

出務者：井上、植田、寒竹、佐藤、嶋田、下田、中田、永田、長和、野原、松崎、  
三浦、吉井、中村、松垣、熊谷

【公益事業3 理学療法の知識・技術を提供する事業】

I. 事業

[公益事業推進部]

1. ときめきスポーツ大会での理学療法士ブース設置中止について

例年久留米市で実施されているが、使用している会場の改修工事があるため本年度北九州市で開催となった。スペースの関係上、理学療法士ブース設置困難と先方より連絡があり今年度事業は中止となった。

熊谷理事より説明。

2. その他スポーツ障害予防に対する活動全般事業（バスケットボール）

日 時：令和元年7月27日（土）9：00～11：30

場 所：北九州市立熊西中学校

内 容：中学生に対する障害（傷害）予防指導

出務者：川原、中山、大石、原山

利用者：熊西中学校バスケットボール部30名（3年生1名、2年生14名、1年生15名）、教員2名

II. 関係会議

[社会局]

1. 第1回社会局会議

日 時：令和元年7月9日（火）19：00～21：00

場 所：宗像水光会総合病院

内 容：今年度事業について

出務者：高橋、久原、熊谷、中村、松垣

[公益事業推進部]

1. 第2回公益事業推進部会議

日 時：令和元年 7 月 31 日（水） 19：00～21：00

場 所：産業医科大学病院

内 容：事業計画、業務分担

出務者：井上、植田、寒竹、佐藤、嶋田、下田、中田、永田、長和、野原、松崎、  
三浦、吉井、中村、松垣、熊谷

## 【支部局】

### 【公益事業 1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

#### I. 事業

##### [北九州支部]

##### 1. 第 2 回北九州支部研修会

日 時：令和元年 7 月 20 日（土） 14：00～17：00

場 所：小倉リハビリテーション学院

テーマ：フィジカルアセスメントに繋がる脳画像の診方と予後予測

講 師：玉利 誠 氏（国際医療福祉大学）

司 会：池田 祐一 氏（新行橋病院）

参加者：140 名

出務者：亀田、國田、池内、六反田、渡口

山内理事より説明。事前予約をされた当日欠席者が約 50 名いた。

西浦会長：多いと感じる

山内理事：急な用事のある方もいるとは思いますが、連絡いただけないで欠席されるケースが  
少なくない現状である。ポイント及び資料がなくて、当日聴講された参加者も多  
数いたので、うまく運用できないかと感じる。

高橋社会局長：ポイント取得条件について支部地区ごとに差があると聞いた。当日受付で  
ポイントを付与する地区としない地区がある。

遠藤理事：事務局で現在調整中である。

山内理事：今までの話し合いでは、事務局では事前受付にのみポイントを付与するという  
話だった。ホームページなどでの研修会のお知らせの表記内容では十分に伝わっ  
ていない表現だったので、現在見直し中である。

##### [北九州 2 地区]

##### 1. 第 2 回北九州 2 地区研修会

日 時：令和元年 7 月 12 日（金） 19：00～20：30

場 所：JCHO 九州病院

内 容：支部合同症例検討会

演 題：1)「長期間外来呼吸リハビリテーションを継続した COPD 症例の経過」

- 池内 智之 氏 (霧ヶ丘つだ病院)
- 2) 「臥床状態が続いていた TPPV 患者に対する EMS の効果」  
六反田雄一 氏 (霧ヶ丘つだ病院)
- 3) 「左視床出血を発症し、課題指向型アプローチを実施し、起居動作に改善が得られた症例」  
遠藤 千広 氏 (東和病院)
- 4) 「人工股関節全置換術後感染にて長期間免荷期間を強いられたが、徒手牽引を行い良好な治療結果を得られた症例」  
安永 直騎 氏 (JCHO 九州病院)
- 5) 「人工膝関節全置換術後早期に神経筋電気刺激を導入した症例」  
村上 武史 氏 (産業医科大学病院)
- 6) 「投球動作中の肩甲骨の運動に着目した投球障害に対する運動療法」  
尾池 拓也 氏 (田原整形外科医院)
- 7) 「急性呼吸不全により ADL 能力低下を呈し自宅復帰に向け介入を行った症例」  
本田 滉大 氏 (萩原中央病院)
- 8) 「前十字靭帯再建術後患者に対する電気刺激療法が筋出力および関節位置覚に及ぼす影響」  
森 聡 氏 (飯塚市立病院)
- 9) 「人工股関節全置換術後患者に対する体組成とWBIに基づいたリハビリ介入の一例」  
佐藤 光倫 氏 (麻生飯塚病院)
- 10) 「術前の呼吸理学療法が奏効した混合性換気障害を有する高齢フレイル合併患者の僧帽弁置換術、三尖弁形成術後の考察」  
原 拓也 氏 (麻生飯塚病院)
- 11) 「がん悪液質を呈する肺癌患者にリハビリテーション栄養ケアプロセスを実践した1症例」  
白土 健吾 氏 (麻生飯塚病院)

司 会 : 九州栄養福祉大学 烏山 昌起 氏  
北九州市立医療センター 音地 亮 氏  
福岡県済生会八幡総合病院 丹生竜太郎 氏

参加者 : 104 名 (会員 82 名、学生 22 名)

出務者 : 上野、後藤、和田、加納、溝上、前田、岩松、熊谷

[筑後支部]

1. 第 1 回筑後支部研修会

日 時：令和元年7月20日（土）14：00～17：00  
場 所：新古賀病院  
テーマ：「心疾患に対する理学療法 心不全を中心に」  
講 師：寺松 寛明 氏（産業医科大学病院）  
座 長：水野 政慶 氏（聖マリア病院）  
参加者：111名  
出務者：福田、安、高村、木村、立石、石橋、若菜、仲

[筑後2地区]

1. 第2回筑後2区研修会

日 時：令和元年7月17日（水）18：00～21：30  
場 所：柳川リハビリテーション病院 リハビリ室  
テーマ：「運動療法に物理療法という spice を」  
講 師：森 聡 氏（飯塚市立病院）  
司 会：村上 武士 氏（柳川リハビリテーション病院）  
参加者：51名  
出務者：村上、松崎、上野、長谷川、吉野、菊次、木原、榊

II. 関係会議

[筑後1地区]

1. 第3回筑後1地区会議

日 時：令和元年7月5日（金）19：00～21：00  
場 所：朝倉医師会介護支援センター  
内 容：「8月9日開催の症例報告会事前会議」  
出務者：安、川原、石橋、上瀧、木村、高村、西、立石、家守、塚田、水野、村山、  
萬代、福田、徳田、福有、若菜、大野、保坂、松本

【公益事業2 理学療法の知識・技術の普及・啓発を行う事業】

I. 事業

[北九州2地区]

1. 体力測定会・運動指導

日 時：令和元年7月12日（金）10：00～11：30  
場 所：一枝西団地集会所  
内 容：1）問診票記入、血圧測定、握力測定、測定内容説明  
2）体力測定  
椅子座位体前屈、開眼片脚立位、CS30、ミニコグ

3) 運動指導(個別)

起立運動、片足立ちを中心に、パンフレットに沿って説明

4) 運動指導

つま先立ちを10回一緒に実施、その後個別に参加者の元を回り運動状況の確認と指導を実施

参加者：22名

出務者：園田、菊谷、野中、伊藤、森本、南部、松山、荒木、中島

[筑後1地区] なし(大雨のため中止)

日時：令和元年7月21日(日) 10:00~12:30

場所：介護老人保健施設 こが21 通所リハビリセンター

[筑後2地区]

1. 第1回筑後2地区介護予防事業

日時：令和元年7月21日(日) 8:30~12:30

場所：大牟田市労働福祉会館中ホール

テーマ：「転ばない身体をつくろう! ~転倒予防教室~」

講師：榎 英一 氏(柳川リハビリテーション学院)

参加者：20名

出務者：照屋、小柳、稲田、岡、西原、田中、植松、伊藤、橋口、嘉村、松田、森真、村上、今田、錦戸、中牟田、田村、山田、深野、高木

## II. 関係会議

[北九州支部]

1. 芦屋競艇場における体力測定会 事前会議

日時：令和元年7月12日(金) 10:00~11:00

場所：芦屋競艇場

議題：1) 事業内容についての説明

2) 開催時間、服装、物品などの確認

3) 開催場所、物品搬入場所、駐車場の下見

出務者：本田

[北九州2地区]

1. 第2回北九州2地区会議(体力測定会打ち合わせ)

日時：令和元年7月4日(木) 18:30~20:00

場所：西野病院

議題：1) 体力測定会集合場所の確認

2) 体力測定会流れおよび役割の確認

3) 体力測定会評価項目検討

出務者：園田、菊谷、野中、伊藤、荒木

2. 第3回北九州2地区会議（八見小学校体力測定会事前打ち合わせ）

日 時：令和元年7月25日（木）10：00～11：00

場 所：八見小学校

議 題：1) 事業内容の説明、日程確認

2) 使用物品の確認

3) 講演内容へのリクエスト確認

出務者：上野

[筑後2地区]

1. 第2回筑後2地区会議

日 時：令和 元年7月9日（火）19：00～20：30

場 所：柳川リハビリテーション学院

内 容：「大牟田市介護予防事業事前会議」

出務者：福田、村上、松崎、高木、伊藤、小出、芝原、江頭、江崎、楠元、行平、  
上野、長谷川、吉野、菊次、難波、山本、木原、原、鈴木、榊、本田、山  
田

【法人事業】

II. 関係会議

[北九州支部]

1. 第1回北九州支部会議

日 時：令和元年7月29日（月）19：00～21：00

場 所：製鉄記念八幡病院

議 題：各事業について、審議事項・実施内容等々

出務者：山内、帆足、本田、上野、池田、林、瀬尾

【法人事業】

1. 運営委員の退任

[筑豊地区]

退任 藤井 俊文 氏（第二いずみ苑）

[筑後1地区]

新任 若菜 理 氏（新古賀病院）

大野 航輝 氏（古賀病院21）

徳田 啓太 氏 (嶋田病院)

山添 貴弘 氏 (久留米大学医療センター)

【地域包括ケア推進局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

I. 事業

[地域包括ケア推進局]

1. 介護予防推進リーダー導入研修会

日 時：令和元年7月14日(日) 9:30~16:45

場 所：久留米リハビリテーション学院

内 容：1) 介護予防・日常生活支援総合事業とリハビリテーション専門職の

取り組みを知る：西村 天利 氏

2) 介護予防事業の展開方法：帆足 裕平 氏

3) 介護予防の実践：藪野 倫巳 氏

4) 介護予防事業の企画立案：今村 純平 氏

講 師：西村 天利・帆足 裕平・藪野 倫巳・今村 純平

出務者：松崎、時吉、丸山

II. 関係会議

【地域包括ケア推進局】

[地域包括ケア推進局]

1. 第1回 地域包括ケア推進局 会議

日 時：令和元年6月14日(金) 19:00~21:00

場 所：麻生リハビリテーション大学校

内 容：1) H30年度地域包括ケア推進局収支報告

2) 地域ケア会議推進リーダー導入研修会・介護予防推進リーダー導入研

修会

3) 各市区町村の現状把握報告・各市区町村実務担当者見直し・各市区町  
村への「地域ケア会議」

「介護予防」事業戦略

4) 地域医療介護総合確保基金(H31年度)

5) 地域ケア会議出席の理学療法士に対する理学療法士の派遣事業

6) 地域ケア会議推進リーダー・介護予防推進リーダー管理

7) 福岡県地域ケア会議トバイザー派遣事業

8) 福岡市介護予防事業

9) 講義資料作成分担

出席者：松崎、今村、時吉、志田、村田、中村、山脇、藪野、帆足、有田、鳥山、

高木、西村

2. 第2回地域包括ケア推進局会議

日 時：令和元年7月25日（木）19：00～21：30

場 所：麻生リハビリテーション大学校

内 容：1）地域ケア会議推進リーダー導入研修会・介護予防推進リーダー導入研  
修

会

2）各市区町村の現状把握報告・各市区町村実務担当者見直し・各市区町  
村への「地域ケア会議」

「介護予防」事業戦略

3）地域医療介護総合確保基金（H31年度4）地域ケア会議出席の理学療法  
士に対する理学療法士の派遣事業

5）地域ケア会議推進リーダー・介護予防推進リーダー管理

6）福岡県地域ケア会議ドバイザー派遣事業

7）福岡市介護予防事業・福岡市訪問C事業

8）講義資料作成分担

9）理事・部長紹介

出席者：松崎、今村、志田、村田、中村、薮野、帆足、有田、鳥山、西村、林（剛）、  
林（正）、松尾、照屋、馬場、原口

【公益事業3 理学療法の知識・技術を提供する事業】

I. 事業

[地域包括ケア推進局]

1. 福岡市介護予防事業説明会

日 時：令和元年7月31日（水）19：00～21：00

場 所：麻生リハビリテーション大学校

テーマ：「福岡市介護予防事業説明会」

講 師：松崎 哲治（麻生リハビリテーション大学校）

内 容：1）福岡市介護予防事業について

2）介護予防プログラムの概要

3）福岡市理学療法士派遣業務事業マニュアルについて

4）計画書・報告書・身体機能評価結果一覧表について

5）運動プログラムについて

6）介護予防事業登録について

参加者：41名（福岡市職員2名を含む）

出務者：村田、薮野、中村

## II. 関係会議

### 【地域包括ケア推進局】

#### [地域包括ケア推進局]

##### 1. 福岡県シルバーリハビリテーション事業説明

日 時：令和元年6月25日（火）16：00～16：45

場 所：福岡県庁

内 容：1) 基金研修会について  
2) 地域ケア会議アドバイザー派遣事業について  
3) シルバーリハビリについて

出務者：松崎、時吉

##### 2. 福岡市訪問C事業会議

日 時：令和元年7月3日（水）17：30～18：30

場 所：麻生リハビリテーション大学校

内 容：1) これまでの福岡市訪問Cについて  
2) 今年度からの福岡市訪問Cについて

出務者：松崎

##### 3. 福岡市全区合同実務担当者会議

日 時：令和元年7月29日（月）19：00～21：00

場 所：麻生リハビリテーション大学校

内 容：1) 福岡県の現状（地域ケア会議・介護予防事業）（松崎）  
福岡市の現状（地域ケア会議・介護予防事業）（松崎）  
2) 福岡市担当地域包括ケア推進局部長紹介（松崎）  
3) 各区実務担当者紹介（各区実務担当者）  
4) 各区の取り組みと現状（各区実務担当者）  
5) 南区の取り組み（永友元副会長）  
6) 各区に分かれて自己紹介・名刺交換（各区実務担当者）  
7) 模擬地域ケア会議（松崎）  
8) 今後の予定

出席者：松崎、村田、藪野、原口、木山、郡山、山口、渡邊、白石、永友

### 【各委員会】

#### 【50周年記念式典準備委員会】

1. 50周年記念事業（公開講座、式典、祝賀会）準備進捗報告（別紙：50-1～4）  
別紙の通り現在準備を行っている。

廣滋副会長より説明。最終調整中、座席や来賓の議員などを調整している。スケジュールがタイトで、議員も来られるので、理事にもご協力をお願いしたい。9:00に理事は集合写真を撮影予定とする。

2. 50周年記念誌作成について（別紙：50-5）

別紙の通り目次を作成し、記念誌作成準備を行っている。

廣滋副会長より説明

**【依頼事項】**

[総務部]

1. 令和元年度上半期事業報告・下半期事業計画の提出をお願いいたします。  
提出先：総務部加藤まで  
締め切り：9月30日（月）
2. 令和2年度事業計画作成に向けて  
各部局新規事業を追加する予定のある場合は、次回10月理事会にて提案をお願いいたします。（県への届け出修正を行う必要があるため）  
加藤理事より説明。

[財務部]

1. 今年度は理事会スケジュールの都合上、第3回理事会にて令和元年度の修正予算と令和2年度の予算案の提出依頼をさせていただきます。
  - 1) 令和元年度（平成31年度）予算執行状況確認  
（別紙：財-1：G表：令和元年度（平成31年度）予算執行状況）
  - 2) 令和元年度修正予算提出  
第3回理事会（8月）にて令和元年度（平成31年度）修正予算提出依頼  
第4回理事会（11月）にて令和元年度（平成31年度）修正予算確認
  - 3) 令和2年度予算案作成並びに事務折衝について  
財務部では、今年度予算作成の流れで考えております。  
昨年までと同様に次年度予算作成に向けて、三役・事務局・財務との予算折衝会議を行いたいと思います。

<令和2年度予算案作成スケジュール>

第3回理事会（8月）にて令和2年度事業計画に合わせて予算案作成依頼

第4回理事会（11月）にて令和2年度予算確認

↓

令和元年11月前半（2週間）：令和2年度予算案について、三役・事務局・財務との予算折衝会議実施。

↓

令和元年11月後半（2週間）：予算折衝会議の結果をもとに、令和2年度予算案を各部局にて作成および財務部へ提出。（11月末締め切り）

↓

第5回理事会（12月）：令和2年度予算案審議。

↓

第6回理事会（2月）：令和2年度予算案確定。

時吉理事より説明。来年度予算案、修正予算は10/23提出。11月の理事会で審議確認後、3役の予算セッション会議、12月理事会で審議の予定である。

岩佐支部局長：今年度の予算でPC等は購入できるのか

時吉理事：全ての予算を確認しないと返事が出来ない。一旦提出して審議させてもらいたい。

#### 【確認事項】

##### 【総務局】

##### 【法人事業】

##### [総務局]

#### 1. 2019年度・2020年度理事会スケジュールについて（別紙：総-2）

理事会年間スケジュールを修正した。別紙の予定で各部局の運営の参考に活用して頂きたい。

加藤理事より説明

#### 2. 理事会資料 書式確認のお願い（別紙：総-3）

加藤理事より説明

西浦会長より依頼

三役会議で話し合った内容について報告する。ブロック学会の役職を決めているので近いうちにお知らせする。ご協力賜りたい。

今後の理事会終了後に意見交換をしたいと考えている。先日の総会での意見を踏まえて、今後の福岡県理学療法士会の展開を模索している。会員は九州全体で減少傾向である。計画的に事業を変えていきたいと考えている。福岡独自に会員が福岡県理学療法士会に興味を持てるように工夫したい。例えば研修会では、福岡県理学療法士会でラダー制度を構築

して「●年目に推奨する研修会」という研修会目安をつくったら会員が参加しやすいかもしれない。会員が臨床で働きながら参加しやすい環境を整えることも考えたい。理事会終了後に意見交換をしながら、構築、模索して、2-3年後目処に構成を変えたいと考えているので協力を賜りたい。

次回理事会：

日 時：令和元年 11 月 2 日（土）15：00～ 予定

場 所：桜十字病院

以上この議事録の内容が正確であることを証明するため、出席した会長、監事は、次の通り署名する。